

山屋敷の会

上越教育大学大学院同窓会
静岡県支部会長 工藤 榮一
(自然系(数学)コース 平成2年度修了)



本県の同窓会の母体は、結束力では大学院随一と定評のあった、現副学長高田喜久司先生の「教育方法学研究室」出身者の会です。数年前から、彼らと話す中で、県から大学院に派遣していただ

たお返しをそろそろする時期ではないか、という意見が出始めました。静岡県から派遣された数は、90名を数えるまでになっていたからです。また、大学本部からも、同窓会立ち上げの話が聞こえてきました。そこで、本県でも同窓会をということになったわけです。目的を「互いの研鑽と資質向上をめざすと共に、会員相互の親睦と情報交換を図る」とし、静岡県の教育に少しでも貢献しようと考えたのです。

打ち合わせにはアルコールが出ることを条件に、飲兵衛の私が会長を引き受けることになり、準備会がスタートしたのは、3年ほど前のことです。静岡県は東西に長い県で、教育事務所も東・中・西と分かれていましたので、各地区から副会長と幹事を出していただきました。事務局と会計は高田研究室の重鎮、太田さんと安藤さんという最強のコンビに引き受けて

いただき、体制が整ったのです。

2年間過ごした上越の「山屋敷」という地名には皆さん愛着があります。同窓会の愛称も、全会一致で「山屋敷の会」と決めました。毎年、3月の第2土曜日に総会を行うことにし、肩のこらない楽しい会になるように考えています。早いもので、「山屋敷の会」も3回目となりますが、今回は、会員実践発表を「キャリア教育が小学校を変えろ」と題して工藤が行い、大学の近況報告を副学長の高田先生に、「上越教育大学の歩んできた道とこれから」と題した講演を学長の渡邊先生にお願いし、充実した総会の後、懇親会を盛大に行う予定です。

年に1回会員が顔を合わせるだけですが、各人の専門分野を紹介することで、学問の人脈を広げ



第1回「山屋敷の会」 於：ホテルアソシア静岡ターミナル

ことや、同窓会通信「やまやしき」の発行や、短期間での役員の交代など、参加者の増加を願っている試みをしているところです。

大学院同窓会への問い合わせ先

大学院同窓会事務局長

中村 雅彦

(自然系教育講座理科分野 教授)

E-mail: masahiko@juen.ac.jp

修了生からのお便り

―地域と総合学科同士のネットワークをコーディネートして―



産業社会と人間 社会人講師によるキャリア教育

現在県下の総合学科高校は11校を数えています。本校はそのパイオニアとして、総合学科のキャリア開発に望んできました。

産業社会と人間

キャリア教育をコアに、将来の職業選択を踏まえて、自己と社会の関係について考えさせようという目的で作られています。事業所や施設に連れて行ったり、社会人講師に来ていただくお話を伺ったり、教師には地域の施設や人材を活用する能力が求められます。

課題研究

3年次で行う選んだテーマを1年間かけて研究し発表する授業です。私も昨年10名の生徒を指導しました。問題意識を整理して研究の目的をまとめさせる作業から、資料を集めデータを取って結論を書き上げさせるまで、生徒を



プレゼンテーション作成指導

本校には「マルチメディア表現」「ネットワークシステム」など多くの情報科目があります。これらをより今日的な情報教育の目的に合致した科目に改組することを計画しています。来年度は、実践的なプレゼンテーション能力を身につけさせることを目的として「情報と表現」を新設します。また本校が重視しているものに情報モラル教育があります。近年、

情報モラルに絡むさまざまな問題が生じています。そこで、県内総合学科高校の情報担当教員に呼びかけて、情報モラル教育研究会を立ち上げました。学校教育総合研究センターの井上久祥先生に研究助言者になっていただき、携帯電話における情報モラル教育のための教材開発を進めています。今年度は上月スポーツ・教育財団より研究助成もいただきました。

上教大で学ぶ皆さんへ

卒業後の現場は、小学校、中学校、それとも高校でしょうか。教科教育色の強かった高等学校でも、自分の専門教科だけを教えていけばすんだ時代は終わりました。現在の私には、授業者としてだけでなく企画力交渉力が求められるコーディネーターとしての仕事がたくさんあります。このような能力を研くには大学という場は最良ではないでしょうか。さまざまな経験を積み、新しい授業を創造できる先生をめざしてください。

プロフィール

近藤 茂人 (こんどう・しげと)

神奈川県立大師高等学校教諭

平成15年度本学大学院学校教育研究科学校教育専攻学習臨床コース情報教育分野修了
高等学校における携帯電話モラル教育の実践的カリキュラムの開発のための研究会を設立。
現在、新しい情報ツールである携帯電話と学校・情報教育の関係を模索中。



修了後早3年経ち、上越の目まぐるしく変わる天気や懐かしさ思い出します。今日は現任校での教育実践・課題解決に、大学院で学んだことがどのように役立っているのか紹介します。

本校は11年前に神奈川県下唯一の総合学科として開設されました。3年前より公立高校の再編が始まり、